

遊佐町長 時田博機 殿

特定非営利活動法人
環境自治体会議 環境政策研究所
(LAS-E事務局)
所長 中口毅博



LAS-E判定委員会の報告

第23回LAS-E判定委員会において、継続的な取り組みの監査結果を報告しました。維持点検結果について下記の通り報告いたします。

記

1. 日時

2014年7月28日(金) 14:00~17:00

2. 場所

八重洲倶楽部 第8会議室

3. 出席委員

寺西 俊一(委員長)、山本 武(副委員長)、杉本 裕明、西寺 雅也

4. 判定結果

LAS-Eに準拠し適正に維持していることが確認されました。

5. 委員から出されたコメント

第1ステージの取り組みが外部施設にもよく浸透し、良好な実施状況であることが確認できました。

今後の取り組みを考える上で2点指摘しておきます。

1点目は、エネルギー使用量の目標値と実績値についてです。灯油やガソリン、事務用紙などの目標値は「使用量」とされていますが、実績値は「購入量」でみています。厳密には異なる数字であることを、認識しておいてください。本来は年度末に棚卸をして、購入量と使用量のずれを補正する必要があります。早期の実現は困難と思われませんが、環境やエネルギーに限ったことではなく、行政全体の課題として提起しておきます。

2点目は、監査結果の公表についてです。ホームページで監査報告書を閲覧できますが、この文書だけでは一般の町民にとっては分かりにくいのではないのでしょうか。どのようなポイントが評価されたのか、監査結果を受けてどう改善していきたいかなど、「監査結果からわかること」をまとめたものも併せて公表するなどの工夫が必要です。

まちづくりセンターなど町民が関わる場も多いという強みを生かして、より高いステージを目指していただくことを期待します。

以上